

2011年1月21日

反貧困ネットワークあいち
共同代表 内河恵一 様
共同代表 藤井克彦 様
共同代表 和田 肇 様

市長候補への質問状へのご回答

第一 若者の就職問題について

- 1、名古屋の各種企業の活性化を図るために、市長自ら国の内外にトップセールスをする。これを公約にしており、若者の人達の働く場と機会を増やす役割を果たして応えていくことと考えています。
- 2、前項を具体的な形にする取り組みによって、名古屋市の独自性を打ち出します。
- 3、若者の就職問題を官民が一体となって解消して行くため、若者就職委員会を設立して各種の施策を企画し、国と県と経済界と協働して推進していくことだと考えています。

第二 居住に関する問題について

- 1、建設会社および賃貸住宅開発会社に、市営住宅を建設していただき、それを名古屋市で市営住宅として借り入れる施策によって、入居待機者の減少を図っていく考えでいます。
- 2、貧困者を困らせる貧困ビジネスに対する禁止の条例化と、そのビジネスを正しく行って行くビジネスを、支援する施策を一对として行って行くべきだと考えています。

第三 生活保護に関する問題について

- ①の問題：有期は避けられないと考えますが、行政の拘り定規的な判断をしない、温かい名古屋市行政の確立を図る考えでいます。
- ②の問題：市単独でする事には財政力上に無理があります。国がそれを負担することを強く求めていく責任を果たしていくことだと考えています。

第四 名古屋市の税財源について

減税を叫ぶ者の人気取りパフォーマンスにキッパリと反対します。

第五 貧困が子供に及ぼす影響について

貧困で困っている子供達を保護することなくして、国も地方も榮えさせることは

できません。子供を守ることが行政の使命だという考えで、子供達を守るための各種の保護支援する施策を取ることは私の心情であります。

第六 自殺対策

- 1、虐待・孤独死をゼロにする。これを私は使命としています。そのために市長と直接話し相談できる、ホットラインを設けることも私の公約です。
- 2、ホットラインによって得た生の声を、具体的な各種施策を市政で行い、国や県の協力を引き出していく先頭に立つ覚悟でいます。

名古屋市長候補 杉山 均